



学童保育のあ

のあだより2月号

住所：栄区桂台西1丁目30-7
Tel/Fax：045-410-8404
✉：gkdnoah@gmail.com
運営：特定非営利活動法人
のあインターナショナルスクール
URL：https://www.noah-is.jp/

「私たちはみな違う舟に乗って、ここにたどり着いたかもしれない。でもいまは、みんな同じ船の上に乗っているんだ」キング牧師

2月8日(木)、第2回「学童保育のあ記念日」セレモニーを行いました。学童のあの成り立ちの初めは1人の青年の心に宿った希望のタネです。彼は若くして突然天国へ旅立ちました。その希望のタネは、数か月後、数人の発芽を促された人の心に住み着き、準備期間を経て、1年足らずのうちに2020年4月「学童保育のあ」として芽を出しました。初めはおぼつかない歩みでしたが日々学童内には温かいものが流れ、かわい笑顔があふれ、希望のタネは双葉になり、8月には本葉が出て来て、その時の力で伸びていきました。2021年もゆっくりしたペースで伸びましたが、2022年4月目指して茎は太くなり、葉っぱも一気に増えて来て、2023年4月には更にグンと伸びて樹の姿を見せ始めています。今学童保育のあには日々30人前後の子どもたちが「ただいまー」と帰ってきます。ありのままの自分でいられる場所、「もう一つの家」として安心して過ごせる場所になってきています。

学童に来るまでは、それぞれ違った船に乗って過ごしてきましたが、今は「学童保育のあ丸」の一員です。たとえ小学校卒業で学童を卒所しても、いつでも「ただいまー」と帰って来られる「もう一つの家」であり続けます。愛に溢れた、だれでも安心して過ごせる「お家のような場所」、「学童保育所」をつくりたい！と希望を抱き実現に向けあれこれ物心両面の準備をしていた青年栢恵太くんのこと、毎年「学童保育のあ」の歴史の初めに立ち返ってみんなで確認し感謝し、次の1年に向けて新たな気持ちで、希望のタネのゆくえ～どんな樹になるのだろう？！もしかしたらどんな森になるんだろう？！と希望をもって歩んでいきたいと願っています。

聖書の言葉 コリント人への手紙第1 3:6

私は植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神様です。

杉浦正明編著

児童精神医佐々木正美の「ことばの森」より

【健康な人】pp.44～45 (抜粋)

◆子どもが育つ、人間が生きていくということは、育ち合う、生き合うということである。人間とはそういうものである。だから、ともに育ってくれる仲間や一緒に生きてくれる人々に恵まれなければ、子どももおとなも健康ではいけない。

お習字(毛筆・硬筆) ABC ジェニーと遊ぼう
お抹茶 J ジョイジョイタイム
Friday フライングフライデー

2月 February						
11	12	13	14 J	15	16 ABC	17
18 高学年キャンプ	19	20 J	21	22	23	24 土曜保育 ユトリロー
25	26	27	28 J	29		

3月 March						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1 ABC Friday	2 土曜保育 ユトリロー
3	4	5	6 J	7	8 ABC	9
10	11	12 J	13	14	15 ABC 土曜保育	16
17	18	19 J	20	21	22 ABC	23 卒所式
24	25 2・3月のお誕生会	26 J	27 香葉山遠足	28	29 ABC Friday	30 土曜保育 ユトリロー
31						

<春休みについて>

学童給食は、3/19から始まります。
1日保育は、3/26から始まります。

<卒所式について>

3/23(土)の10:30～13:00で、卒所式、クラシックライブ、茶話会を行います。
学童っこ、そのご家族、学童関係者みなで、6年生の門出をお祝いできたらどんなに素晴らしいのでしょうか。ぜひご参加ください！

<保護者会について>

年度末保護者会を学年ごとに、平日の夕方に行います。詳細は後日、お知らせします。
1年生：3/19(火) 2年生：3/21(木)
3～6年生：3/26(火)

火おこし体験

野七里のあインターナショナルスクールの裏山にて

昼食後野七里に向けて徒歩で出発、30分前後の道のりです。お正月になまった身体には適度な運動になったと思います。スクールの裏山の整備をしてくださっている森さんと尾崎さんが笑顔で出迎えてくださり、焚火の準備が始まっていました。

子どもたちはアスレチックで遊び、大人が焚火の周りでおやつの準備にかりました。アルミホイルに包んだサツマイモを熾火になった中に投入、お汁粉を温め、お餅を焼き、焼きマシュマロ・焼きせんべいの準備、etc.スムーズに作業が進みました。焚火はちょっと近づいただけでも高温サウナのようでした。アーチッチッチ！食べるものが色々あって迷い箸の子も・・・ほぼ制限なしでおやつが食べらる！うれしさを抑えきれず、お腹がパンパンになるまで焚火廻りに張り付いている男子もありました。

一方裏山の手作りアスレチック、タイヤブランコ、木製ブランコ、火の近くを通過しそうなターザンロープ、学童のあにはない遊具を次々試して遊びまくる様子に、来てよかったなーと感激するスタッフとこどもたち。森さんも尾崎さんも、またいつでもやりましょう！ちよくちよくきてくださいよ！と嬉しいことばをかけてくださいました。そうそう、おやつが始まるまでに「ふぁみりーさぼーと のあ」出身の子たちと希望者を募り、徳武園長先生が保育園に遊びに連れて行ってくださいました。

「上手によく遊んでくれましたよー是非また来てほしいなあ！」との感想をいただき、保育園と学童の連携プレーのきっかけができました。



学童保育のあ記念日

2月8日に「学童保育のあ記念日」のセレモニーを行いました。



♪今日から明日へを歌い ①富江が時系列に沿って学童保育のあの歩みを語り ②のあインターナショナルスクールの月井校長先生が希望を持つこと、抱き続け祈り続けること、必ず希望が形になることを待ち望むことについてお話してくださいました。「学童を作りたい！」という希望のタネを心に抱いて栢恵太くんは祈り行動しようとしていましたが、2019年2月8日突然天国に召されました。彼の「希望のタネ」を引きついだ人たちの祈りと活動によって神様はタネを芽生えさせ、成長させ、大きくしてくださって、学童保育のあがここにあるのです。③栢恵太くんのスライドショーを見て♪花は咲くを歌い ④栢さんからお話を聞きました。「4年前までは形さえなかったけれど「学童保育のあ」は今ここにあります。こんなに多くのこどもが毎日元気に来ています。学童はこれからも「もう一つの家」としてここにあり続け、みなさんが卒所してもいつでも来ていい場所です。」(抜粋) ⑤来年2月8日の自分に手紙を書いて箱に入れました。



学童保育のあ 歴史

2019年

2月8日
栢 恵太くん
召天

4月
学童存在せず

8月
学童準備会
立ち上がる

2020年

4月
学童スタート
@スクール
1~6年生11人

6月
花かごで学童

8月
河合宅が
本拠地となる

2021年

4月
新入生4人

8月
横浜市補助金
事前申請

11月~翌年2月
耐震工事

2022年

3月
横浜市に
補助金申請

4月
認定学童として
スタート
新入生16人

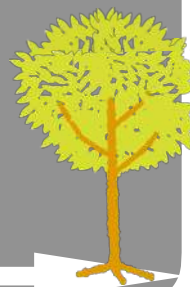
2023年

2月8日
第1回
のあ記念日

4月
新入生12人

2024年

2月8日
第2回
のあ記念日



ほしのこ かみしばい ひろば

1月9日午後

(大泉ひろこさん主宰)の紙芝居シアター開催 大泉さん(紙芝居語り手)、金子さん(伴奏)、宮崎さん(工作)が来てくださいました。お正月ならではの話をたくさんしてくださいました。子どもたちも一緒に考えて参加したり歌を歌ったり、楽しいひとときでした。



こまの取組み

1月も終わるところからこまの取組を始めました。検定表も準備しました。最初は回すことに集中、誰が長く回っているか、誰のこまが強いかなどを競って「シャー！」とか叫んでテンションをあげ男子らしい戦いが繰り広げられていました。その後は5年Aくん、4年Bくんを中心に検定に取り組み始め、Aくんがまず検定表の最高レベル「エコキャップ入れ」をクリア、現在Bくんがその「エコキャップ入れ」に苦戦しています。



編み物 ～ちくちくあみあみ～

今年は1・2年生の食いつきがよく、シコシコと隙間時間に編み物をしています。仕上がる前に意気阻喪してしまわないように、スタッフもちくちくお手伝いしています。2年Cちゃんが自分のマフラーとしてオムライス色のカラーコーディネイトで素敵な仕上がりになりました。次に1年Dちゃんがお母さんへの誕生日プレゼントとして仕上げました。もう少しで完成という子たちが数人にて、今後も楽しみです。



百人一首の取組み

お正月に取組み始める予定でしたが、こちらもゆっくりのスタートになり、夕方時間的に余裕がある時に五色百人一首をやっています。平安時代の言葉や読み方に徐々に慣れてきている様子が見えます。(五色とは百首を20首ずつに分けて青色・桃色・黄色・緑色・橙色のコースがあり、毎回どれかの色でチャレンジしています。)

その他・日常

